

天童市都市計画基本方針(都市計画マスタープラン)の 基本理念の実現に向けて



天童市は、東南に蔵王連峰を望み、西に月山を仰ぐ美しい自然に生まれ、温泉と将棋駒、フルーツのまちとして、国内外から多くの観光客が訪れる観光都市として発展してきました。

本市では、平成13年に天童市都市計画マスタープランを策定し、「ひと輝き 地域が活きるまち・天童」をまちづくりのテーマに市民・事業者・行政が連携し、まちづくりを進めてきたところです。

策定から12年が経過し、都市計画道路愛宕沼天童原線や柏木久野本線などの幹線街路の開通などによる道路交通網の整備、老野森土地地区画整理事業の竣功や楸ノ町土地地区画整理事業及び舞鶴山周辺の観光拠点整備、芳賀土地地区画整理事業による新たな生活拠点づくり、荒谷西をはじめとする新たな工業団地の整備など、本市の都市基盤整備は一定の成果が現れてきています。

一方で、人口減少、超高齢社会の到来により、高齢者が自立して暮らしていける環境、子育て世帯が安心して子どもを生み、育てられる環境の整備が不可欠となっています。こうした中、都市化から成熟した持続可能な都市への転換が求められており、新たな都市づくりの方向に舵を切っていく必要があります。

このような考えのもと、都市づくりの基本理念を「活力ある産業と快適な生活環境が調和した都市づくり」と定め、天童市都市計画マスタープランの見直しを行いました。今回の改定では、機能が集約された市街地の整備、田園集落の地域コミュニティの維持・増進、新たな工業・業務系団地の整備を柱として新たな方向性を示しております。本計画をもとに、第六次天童市総合計画の将来都市像「笑顔 にぎわい しあわせ実感 健康都市」の実現をめざして、魅力あるまちづくりに取り組んでまいりますので、市民の皆様方のより一層の御理解と御協力をお願いいたします。

最後に、今回の策定にあたり、市民懇話会やアンケート、パブリックコメント等で貴重な御意見、御提言をいただきました多くの市民の皆様から感謝申し上げます。

平成26年 3月

天童市長 **山 本 信 治**